

クラブリンゴの有効活用と花材としての新需要創出

園芸栽培部 果樹チーム TEL:022-383-8134

特徴

「クラブリンゴ」とは、観賞用に品種改良された花リンゴのことで、ヨーロッパやアメリカでは一般家庭の庭先の観賞樹として広く知られています。このクラブリンゴを、「ふじ」をはじめとするリンゴ主要品種の授粉樹として利用すると、主要品種に対する授粉を目的とした補助品種の混植が不要となり、単一品種の大面積導入が可能になります。

また、クラブリンゴは花、果実、枝葉の色や形状が多種多様であり、新しいタイプの花材として利用することも考えられます。

研究成果

クラブリンゴ 「Red Bud Crab」



春に咲く香りの良い純白の花



秋に楽しめる真っ赤な果実

現在、クラブリンゴとリンゴ主要品種（ふじ、つがる、さんさなど）との交雑和合性や、クラブリンゴの品種特性を調査しており、リンゴ主要品種と相性の良い品種を検索しています。また、クラブリンゴを果樹園場に導入した場合の省力的な樹形についてや、花材として利用する場合の水持ち性や出荷形態を検討していく予定です。

普及等の見込

県内のリンゴ生産者に授粉専用樹として、花木生産者に花材として普及を進めていく予定です。

宮城県
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地
TEL：022-383-8111(代表) FAX：022-383-9907(代表)
ホームページ：http://www.pref.mi.agi.jp/res_center/
E-mail：marc-fk@pref.mi.agi.jp(代表)